

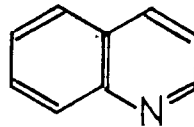
キノリンの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和57年2月2日～昭和57年2月29日

2. 試料名 キノリン (試料№K-2/7)

分子式  $C_9H_7N$

構造式



3. 試験方法及び条件

環保業第5号  
業発第615号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による  
49基局第392号

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

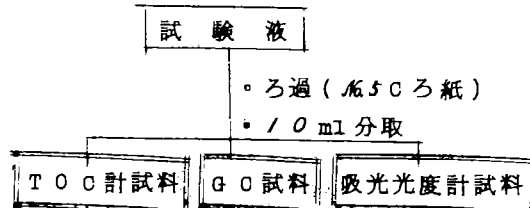
(a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

紫外可視自記分光光度計

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

全有機炭素分析計(TOC計)

流速 TOC回路 200 ml/min

温度 TOC炉 900℃

ガスクロマトグラフ(GC)検出器 FID

キャリアガス  $N_2$

充てん剤 クロモソルブ103

ガラスカラム 2mmφ×0.3m

カラム温度 200℃

紫外可視自記分光光度計(吸光光度計)

波 長 300 nm～330 nm

スリット幅 4 nm

使用セル 石英セル 1 mm

4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0.2	1	—
TOC計による結果	1.7	2	1
吸光光度計による結果	2.4	3	2
GCによる結果	5.2	4	3

5. その他

操作上特に問題点はなかった。

以 上